

昨年中はさまざまにご親切をいただき厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスにより日常生活が一変。引き続き感染拡大を防ぎ命と生活を守るための対策に取り組めます。

そして少子高齢・過疎・災害などへの課題は山積です。今年には東日本

大震災から10年目を迎えます。防災意識を低下させることなく、南海トラフ地震の被害を最小限にするための事前防災、強靱化に引き続き取り組めます。



### ■ 一般質問では(令和2年3月)

- 1: 地域医療の在り方について (最後の砦ともいえる地域の医療体制の再構築)
  - ① 医療機能の分化と連携
  - ② ICTを生かした医師のキャリア支援
  - ③ ドクターヘリと防災ヘリを活用した救急医療体制の充実
- 2: 重要港湾尾鷲港の港湾計画について
- 3: 子ども心身発達医療センターの診療体制の充実について
- 4: スペイン・バスク自治州と三重県との世界遺産交流の促進について

### ■ 総括質疑では(令和2年10月)

- 1: すべての子どもが「幸せ」を実感できる少子化対策の推進について
- 2: オンライン診療などコロナ禍における医療アクセスの確保について
- 3: 「水産王国みえ」の復活と発展に向けた養殖業への支援について
- 4: 公共事業におけるグリーンインフラへの取り組みについて

### ● 関連質問では



- ★ ワークーションへの取り組み
- ★ シニア世代の観光需要への対応
- ★ 新しい生活様式を求め、都市から地方への移住や関係人口増への対策
- ★ ゴミ固形燃料化(RDF)事業終了後に残された課題(関係市町への支援)

◀ 常任委員会有志でワークーションの調査(長野県にて)

### ● 常任委員会では

- ★ 養殖真鯛の販路拡大(給食へ供給)
- ★ 養殖マハタ大量死への緊急対策
- ★ 県内学校の南部地域体験教育旅行への補助金創設
- ★ 感染防止来県延期協力金(屋外体験施設)創設



など重要課題について、質問や質疑、関連質問などを通して政策提言を行いました。引き続き地域の皆様の幸せのために全力を尽くす決意を新たにしています。

謹んでご一家の平安をお祈り申し上げます。